

2026.5.10 発行

MARUNAKA GROUP TIMES

第69号

酔い莓音楽祭 2026 IN NIHONMATSU



まるなかファームで「酔い莓音楽祭」が開催されました！

4月11日(土)、まるなかファームで「酔い莓音楽祭 2026 IN NIHONMATSU」が開催されました。

いちご園を舞台に、音楽と食を楽しむこのイベント。当日は、駐車場やカフェテラスのステージで、アカペラやバンド演奏などが行われ、たくさんのお客様でにぎわいました。会場には、いちごを使ったドリンクや地酒、軽食、キッチンカーなども登場し、まさに「いちご園の音楽フェス」といった楽しい雰囲気！

夕方からは、ライトアップされたハウスで「夜のいちご狩り」も行われ、昼間とは違った幻想的なまるなかファームの魅力を楽しんでいただけました。

当日は、日頃よりお世話になっている二本松信用金庫の皆さまにもボランティアとしてご参加いただき、会場運営を支えていただきました。特に支店長様には、朝の準備からイベント終了後まで長時間にわたりご協力いただき、大変心強い存在となりました。

音楽といちご、そしてたくさんの笑顔に包まれた一日。今回のイベントは、社員だけでなく、地域の皆さまや関係機関の皆さまのご協力があってこそ実現したものです。これからもマルナカグループとして、地域とのつながりを大切にしながら、二本松を盛り上げていきたいですね。



準備や片付け、
お疲れ様でした！

ようこそマルナカへ！



新しい仲間が増えました



4月14日より、マルナカに新しい外国人技能実習生が仲間入りしました。インドネシアから来た PRAMUDYA HANUNG（プラムディヤ ハヌン）君です。

会社へ挨拶に来てくれた時には、少し緊張しながらも、穏やかな笑顔で自己紹介してくれました。これから日本での生活や仕事に少しずつ慣れながら、現場でもたくさんの経験を積んでいってほしいですね。

新しい環境で不安なこともあるかと思いますが、見かけた際にはぜひ温かく声をかけてください。ハヌン君と一緒に、これからますますマルナカを盛り上げていきましょう！

PROFILE

出身：インドネシア | 趣味：ジョギング
| 好きな食べ物：ラーメン

社長のつぶやき

GWが終わると、「マルナカグループ感謝祭」です。私の無茶ぶりから始まったこの感謝祭も、今年で4回目を迎えます。少しずつではありますが、地域の皆さまにも認知していただけるイベントになってきたのではないかと感じています。今後も、地域貢献の一つとして継続していければと思っています。一方で、その裏には取引先の皆さまのご理解と、多大なるご協賛があり成り立っていることを忘れてはなりません。改めて、一人の力では何もできないということを実感するとともに、多くの方々に支えられていることへ心から感謝しております。

そして、私がこの感謝祭で毎年お願いしている、皆さんへの“三つのミッション”があることを改めてお伝えします。

- ① 来場されたお客様が笑顔になること。
- ② 事故を起こさないこと。
- ③ 参加する私たち自身も楽しむこと。

この三つは、単なるイベントの目標ではありません。私たちマルナカグループが大切にしている、「地域貢献」「新しいことへの挑戦」、そして「仲間との絆」そのものだと思っています。是非、今年も社員一人ひとりが主役となり、来場される皆さまに笑顔を届けながら、自分たち自身も楽しめる感謝祭にしましょう。

さて、感謝祭の日をもって、まるなかファームの「いちご狩り」も終了を迎えます。昨年は、大変不本意ではありましたが、4月中旬頃から満足いただけるいちごを提供することが難しくなり、多くのお客様にご迷惑をお掛けしました。楽しみにご来園いただいたにも関わらず、ご期待に応えられなかったことは、今でも強く心に残っています。今年は、昨年のリベンジという思いを持ちながら、本当に「いちごたち」と向き合い続けたシーズンでした。天候や管理など簡単なことばかりではありませんでしたが、スタッフ皆で試行錯誤を重ねながら栽培を続けてきた結果、無事にGWを乗り越えることができ、本当に良かったと思っています。スタッフ一人ひとりの努力、準備、そして支え合いがあったからこそ、今年の営業に繋がったのだと思います。うまくいったこともあれば、まだまだ課題もあります。それでも、時間は止まりません。来シーズンに向けた準備は、もう始まっています。何事にも挑戦し、改善しながら前へ進んでいくこと。それこそが、マルナカグループ全体のミッションだと思っています。

過去は変えられません。

しかし、未来は変えることができます。

感謝祭、そして日々の仕事においても、安全第一を忘れず、皆で前へ進んでいきましょう。

